

市2のサン

～市場第二の太陽(サン)～

発行日 平成26年12月5日
発行者 市場第二地区社会福祉協議会・市場第二地区あいねっと関係者連絡会
市場第二地区世帯数 8245 世帯

この広報紙は、市場第二地区に住んでいる皆さんの「地域のことを知ってほしい」や「交流の輪を広げたい」そんな声から作られました。

正しく分別するとゴミは資源に変わります

さて、どっち？



「ヨコハマ3R夢！」
マスコット イーオ



マークのあるシャンプーのボトルは「プラスチック製容器包装」で、プラスチック製品のバケツは「燃やすごみ」だよ。

間違えやすい物



へら星人
ミーオ

古紙として回収できない物 → 燃やすごみ

汚れた紙・(カップめん・ヨーグルト・アイスクリームの紙製容器 など)
香りやおいの付いた紙 (洗剤の紙製容器・石鹸の個別包装紙容器 など)、
内側にアルミが張られた紙パック (豆乳のパック など)、裏カーボン紙、銀紙、アルバム

プラスチック製容器包装として回収できない物 → 燃やすごみ

使い捨てプラスチック製ライター、インクジェットプリンターのインクタンク、まな板
ピンチハンガー、アクリルファイルなどのプラスチック製品

小さな金属類として回収できない物

ラジカセ、ドライヤー、家庭用電話機など 50センチ未満 → 燃やすごみ

ラジカセ 50センチ以上 → 粗大ごみ

傘の布またはビニール → 骨組からはずして燃やすごみ



防犯のキーワードは、「地域のコミュニティづくり・まちづくり」

『子ども110番の家』

子どもたちが登下校途中や遊んでいる時に不審者などに追われたりした際、安心して逃げ込める場所(事業所や個人の家)のことをいいます。



地域での様々な活動のひとつとし

て「子ども110番の家」活動があります。上のようなプレート子ども達から見える場所に設置し



「子ども達を地域ぐるみで守っている」という姿勢を示すことで犯罪を防止する効果をねらっています。

鶴見区PTA連絡協議会と連携した活動で、市場小学校においてもこの活動が取り入れられ、現在は他の取り組みと合わせて、より効果的な防犯対策がされているようです。

現在の登録者は、各町内会の協力者・周辺公共機関および店舗・PTA関係者です。今後も、子どもたちが安心して生活できる街づくりをしていきます。

☆ 活動に協力できるなど、「子ども110番の家」についてお聞きになりたい方は、「市2のサン」活動拠点 ゆうづる (担当: 浅井 045-504-1077) までご連絡下さい。

編集後記



登下校の子どもたちの悲しい事件が後を絶ちません。大切な子供たちの命を守っていきたい気持ちは誰も同じです。現状を知ることにとどまらず、私たちにできることは何かと考えたいものです。

市場上町 鈴木雅子



いちぼじん
市場人

正木 隆 さん
(ヨコハマ・カネ管理組合役員)

3年前に入居、すぐに鶴見消防団第6分団に入団。その後、管理組合理事長就任に際し“地域貢献のための組織づくりが必要”と考え即断・即決し、同意されたとか。

生来、スポーツがお好きで柔道・野球・サッカーをこなされ、遂には横浜F・マリノスのサポーターリーダーに“祭り上げられ”95年の日本一獲得に貢献。井原正己・中村俊輔ら名選手との交流を通じ、多くの貴重な人生体験をもされました。

消防団員の業務を続けながら、防火・防災訓練にも組合マターとして自ら旗振りをされ、更にスポーツ体験から自治会の体育系行事や青少年指導員活動への理解も深く、的確な助言・指導もされています。正に“仲間作りと導きの達人”と言えるでしょう。